

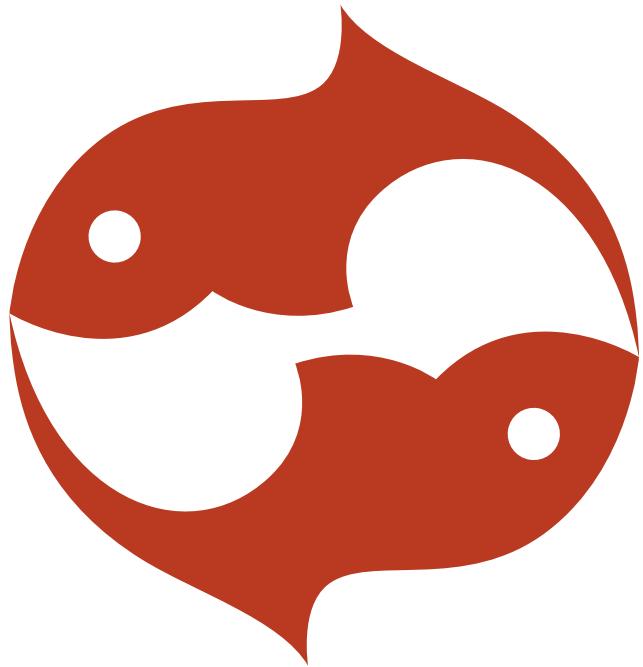
鯛せん デザインマニュアル



本デザインマニュアルは、シンボルマークを最も効果的に使用するための指針です。
シンボルマークの使い方を整然と統一することによって、
鯛せんのイメージを望ましい形で統一化し、
定着させることができます。

制作意図

鯛の胸びれとエラの間付近にある骨が、
鯛の姿に似ていることから江戸時代には『鯛中鯛』と呼ばれて、
めでたい鯛の中にある鯛ということで、
縁起ものや、お守りとして珍重されていました。
この『鯛中鯛』のフォルムを洗練させ、上下に配することで、
ハレの日がまた巡って来ると言う意味を持たせました。



最小使用サイズ

シンボルマークの視認性を保護するために、下記の最小使用サイズ以上の大ささで使用してください。
ただし、媒体の制約があればその限りではありません。



10mm 以上で使用

ロゴタイプ



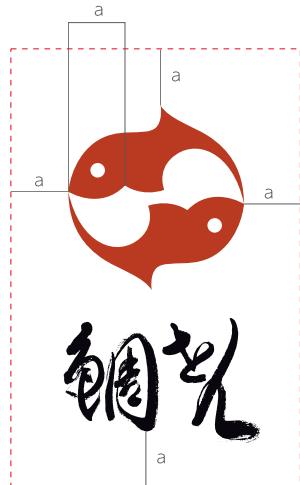
最小使用サイズ

ロゴタイプの視認性を保護するために、下記の最小使用サイズ以上の大さで使用してください。

 文字面の天地 10mm 以上で使用

シンボルマークの保護域（アイソレーション）

シンボルマークの象徴性・視認性を高めるために、シンボルマークの周辶に余白を確保します。この余白の中には、他の文字や記号、色をいれないとください。なお、指定された余白の外側であっても、個性の強い図形などは出来る限り遠ざけ、シンボルマークが引き立つように配慮してください。ただし、媒体の制約があればその限りではありません。



使用禁止事例

原則として、以下の使用は禁止いたします。

また、以下の使用禁止例以外にも、著しくシンボルマークのイメージを損なう表現は避けてください。それ以外の使用は、下地に白を引いて使用するかモノクロパターンをご使用ください。



書体や字間行間を変更する



形をゆがめる



保護域に他の要素を加える



背景に白以外をつかう



マークを傾ける



指定色以外の色を使う



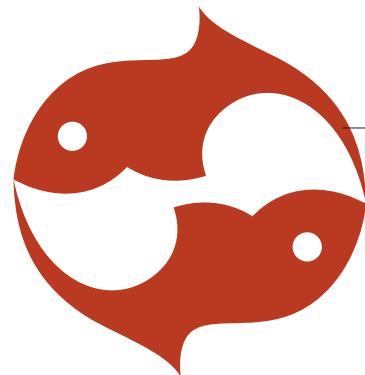
フチや影をつける



保護域より狭い範囲を白地にする

カラー指定

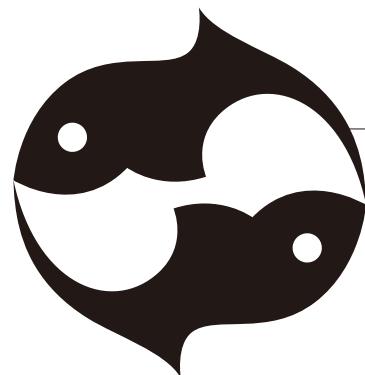
シンボルマークの色は、下記の指示にしたがってください。
白黒印刷でシンボルマークを使用する場合には、モノクロで表示してください。
ただし、媒体の制約があればその限りではありません。



[DIC 2485
CMYK C30, M90, Y100
sRGB 185, 58, 33]



[DIC 582
CMYK C40, M20, Y20, K100
sRGB 9, 7, 13]



[K 100]



[K 100]

基本デザイン組み合わせ（シグネチャー）

シンボルマークとロゴタイプの組み合わせ例です。以下の中から最も適切なものを使用してください。
レイアウトの大きさや位置については、使用媒体の効果を考慮し決定してください。

